

平成三十年度  
玉東中学校便り 文責 田河  
第6号  
希望の虹  
平成三十年七月十八日




### 有意義な夏休みに

前期の前半も今週で終了です。いろいろと忙しい毎日でしたが、子供たちは今年度の目指すべき自分の姿をイメージして、毎日よく頑張ってくれていると思います。(もちろん職員も生徒に負けない努力をしています) 成長している姿を嬉しく思います。

さて、今年は七月二十日(金)～八月二十八日(火)の期間が夏季休業日となります。数えてみるとちょうど四十日間となるようです。ただ本校の場合、夏休みと言っても完全なオフではありません。陸上の取組や学習会、部活動の練習や試合、発表会と、もしかしたら学期中以上に忙しいかも知れません。一人ひとりがしっかりと課題意識を持って、計画的に過ごして欲しいと思います。玉東中の今年の夏休みのテーマは「鍛える」でありたいと思います。

夏休み期間中の学校閉庁日  
八月十三日(月) 十四日(火)  
十五日(水)の三日間は学校閉庁日です。緊急なお問い合わせ等は玉東町教育委員会へお願いします。(☎八五二二六〇九)



### 「租税教室」

今年も三年生を対象に租税教室を行いました。税理士の方に来校いただき、「税の使われ方や税の大切さ」などについての話がありました。生徒は一億円の重さを体験したり、税金が納められなくなると消防や警察も利用できなくなることを理解したり有意義な時間になったと思います。



### 「救命救急法の学習」

七月十一日(木)保健体育の授業の一環として玉名消防署玉東分署のご協力で二年生を対象に救命急報を学習しました。実際にタミール人形を使用して救命時に大切な事柄や手順を学びました。先日の大水害を見ても分かるように、救命救急のスキルはいつでも必要になるか分かりません。日頃からしっかりと学び身に付けておきたいものです。



### 一年生「総合講話」

一年生は七月十一日(木)総合的な学習の時間において玉東町の歴史について学びました。講師は町教育委員会の宮本様です。玉東町誕生の経緯や歴史、地形、また西南戦争について等、幅広く学習することができました。今後さらに学びを深め、文化祭での発表等に繋げていくことになると思います。たいへん有り難うございました。



砲弾などの資料



### 心の栄養となる言葉⑭⑮

**朝の時間**「活きた時間というのは朝だけだ。言い換えれば本当の朝を持たなければ一日ダメだ。昔から優れた人で早起きできない人はいない。常態では朝が一番大事だ。これを外したら一日タラタラと無意味に終わってしまう。」

**師を持つ**「若い間に自分の心に理想の情熱を喚起するよう人物を持たない、理想像を持たない、私淑する人物を持たないのと持つのでは大きな違いです。なるべく若い時期にこの理想精神の洗礼を受け、心の情熱を燃やしたことはたとえ途中いかなる悲運に際会しても、いかなる困難に出会っても、必ず偉大な救いの力となる。」

安岡正篤(思想家・碩学)  
(安岡正篤 一日一言 致知出版社より)